



Corporate Profile



## PROFILE

### 会社概要

会社名	株式会社 白山	事業内容	通信及び電力に関する接続用品の開発・製造・販売 光通信関連製品の開発・製造・販売 雷防護用製品の開発・製造・販売 加熱圧接機等の金属接合機械の開発・製造・販売 環境・エネルギー関連製品の開発・製造・販売	
本社所在地	〒920-8203 石川県金沢市鞍月2-2 石川県繊維会館1F			
創業	1947年(昭和22年)10月15日			
資本金	1億円	主要取引先	NTTグループ各社 通信機器メーカー 光コネクタメーカー 通信・電力工事会社	電力会社 電線・鋼線メーカー 自動車メーカー JR各社
代表者	代表取締役社長 米川 達也			
事業拠点	金沢本社 金沢R&Dセンター 石川工場 東京本社 飯能支店 中居事務所 埼玉工場 日高倉庫	主要取引銀行	りそな銀行 北國銀行	
従業員数	134名(2022年11月時点)	受賞歴	2020. 6 グローバルニッチトップ企業100選 経済産業省 2020.10 地域未来牽引企業 経済産業省 2020.11 はばたく中小企業・小規模事業者300社 中小企業庁	

## HISTORY

### 沿革

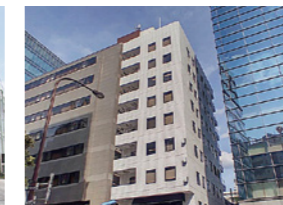
1947	昭和22年10月	港区三田にて株式会社白山製作所創業	1989	平成元年10月	100%出資の株式会社白山エレクトクス設立(通信製造部門の分社化)
1948	昭和23年 1月	電話用加入者保安器(12号)通信省に納入開始	1996	平成8年 12月	ISO9001認証取得
1964	昭和39年 7月	飯能工場 操業開始	1997	平成9年 3月	MTフェールル量産開始
1968	昭和43年 4月	加熱圧接機製品化	2002	平成14年 3月	ISO14001認証取得
1974	昭和49年 7月	レールガス圧接機を国鉄へ納入開始	2016	平成28年10月	株式会社白山エレクトクスと合併 石川県金沢市へ本社移転 株式会社白山と商号を変更
1985	昭和60年10月	サンダーカット販売開始	2020	令和2年 8月	SDGs企業宣言
1987	昭和62年10月	PTCサーミスタ生産開始			



金沢本社／石川県金沢市



石川工場／石川県羽咋郡志賀町



東京本社／東京都豊島区



hakusan-mfg.co.jp



# 北陸から 世界のインフラを支える。

株式会社白山は、通信インフラを陰ながら支え、世界中の皆さんがネットワークで繋がる社会の実現に貢献している企業です。中でも光事業における主力商品「MTフェルール」は、現在世界シェア2位を達成しています。これは、保安器(家庭用電話機に使われる雷防護製品)で始まった創業当初から、光通信の発展に伴って地道な開発を続けた結果です。今では日本国内のみならず、米国・中国など世界のデータセンター等で利用されています。

また、鉄道レール溶接に必要なレールガス圧接機、電線の溶接に使われる加熱圧接機などを展開し、私たちの暮らしに不可欠な社会基盤を支えています。さらに環境やエネルギー分野での利用を見込み、熱電発電素子の開発に本格的に注力し、急速な通信技術の進化を見越してIOWN(アイオン)推進部も立ち上げました。

このように、私たちは今の製品や技術での世界No.1を目指しつつも、過去に囚われることなく未来を見据えた先進的な技術開発を行っています。創業1947年の老舗企業でありながら、ベンチャー気質にあふれた地域企業として、これからも社会の発展に貢献していきます。

## [主要取引先]

- NTTグループ各社
- 通信・電力工事会社
- 自動車メーカー
- 通信機器メーカー
- 電力会社
- JR各社
- 光コネクタメーカー
- 電線・鋼線メーカー

創業

1947 環境エネルギー事業

- 保安器(雷防護製品)
- UPS(無停電電源装置)
- SPD(避雷器)

1968

特機事業

- レールガス圧接機
- 加熱圧接機

1997

光事業

- MTフェルール

2021

IOWN推進  
研究開発

- 熱電モジュール
- 排熱発電ユニット

“日々創業”の精神で、  
お客様にとって必要不可欠な企業へ

私たちの主力事業である「光」と「熱電」は、未来の持続可能な社会を支える基盤技術として大いに貢献すると考えています。一方で、今後も避けられない自然災害から社会インフラや日常生活を守る、という観点において雷防護、UPS、特機製品の必要性はますます高まっています。世界トップレベルの技術で社会に貢献しながら、「白山があつてよかった」「なかったらどうなっていたのだろう」と多くのお客様と“感情”で結びついたエンゲージメントの高い会社であり続けることが私たちの願いです。

株式会社白山は、急成長する光事業、新事業を創出する研究開発活動、新たなビジネスに挑戦する環境エネルギー事業・特機事業などによって、これからの時代を創る企業として更なる成長を目指します。



代表取締役社長  
米川 達也

持続可能な企業として、  
経済的価値の追求と社会課題の解決の両立へ

## SDGsへの取り組み (持続可能な開発目標)

経営理念に基づき、ESG(E=環境、S=社会、G=ガバナンス)に配慮した経営と事業戦略を通して、継続的成長と企業価値の向上を目指しています。2030年SDGsの達成に向けて、お客様のニーズや地域課題の解決を目指し、事業活動を通して持続可能な社会の発展に貢献します。

## 健康経営の推進

社員の健康管理こそが持続可能な会社経営の土台になると考えています。社員への健康投資を積極的に行い、活力向上や生産性の向上に力を入れています。また、自社の健康推進だけではなく、開発途上国で生きる子どもたちの栄養改善を目的に、寄付活動を開始しました。SDGs活動企業として、国際社会や地域社会の課題解決を目指し、貢献活動を行っていきます。



# 「独創と挑戦」により、 新たな価値を創造する。

## IOWN推進

「光電融合」実現のための光接続技術・製品の企画

- セラミック多心フェルール (CMF®)
- 小型多心コネクタ (MTCT®)
- 液浸対応コネクタ (GrinEB®)

### 次世代の 光通信ネットワークの実現へ

Innovative Optical and Wireless Network、通称IOWN (アイオン)。AIやIoTの普及、コンピュータを取り巻く技術発展のためには、大容量・高速通信インフラが必要となります。しかし、通信容量の肥大化に伴う消費電力量の増加も懸念されています。2019年にNTTが提唱した低消費電力・低遅延・大容量高品質の通信ネットワークであるIOWN構想。当社はこの構想実現のために、キーテクノロジーである「光電融合技術」に貢献する光接続技術・製品の開発に取り組んでいます。

世界シェア  
No.2

## 光事業

- MTフェルール
- 超小型MTフェルール (MTCOMPACT®)
- 耐リフローMTフェルール (MTHR®)
- 超高密度MTフェルール (MTDS®)
- 光コネクタ関連部品

### 高精度射出成形技術で 世界No.1へ

20年以上、多心光コネクタ部品のMTフェルールの開発・製造を行ってきました。磨き続けた高精度の射出成形で、他社には真似できない高品質製品の量産を実現しました。月に約100万個以上の生産を行い、成長著しいデータセンタの光接続分野では、世界No.2のシェアへ。当社の製品は、全世界で使われています。最近では、光デバイスの高密度実装向けに超小型MTフェルールの開発に成功。顧客の従来設備との光接続互換性を担保しつつ、新技術にも対応する弊社の製品で、お客様から多くの関心を寄せていただいています。耐リフローMTフェルールや超高密度MTフェルールなど、光通信の発展に伴う光コネクタや光デバイスの進化に合わせた製品開発を他社に先駆けて行い、世界No.1を目指しています。



つなぐ

HAKUSAN  
BRAND



備える



支える

## 研究開発

- 環境調和型 (レアメタルフリー) 熱電モジュール (MagSino™)
- 排熱発電ユニット (SteamBattery®)

### 希少金属からの脱却 持続可能社会の実現へ

熱で電気を、電気で熱を生み出す、それが熱電モジュールです。光通信機器や医療機器、IoTデバイスなど小型電源が必要な機器、温度調整が必要な機器に使われます。夢のような機器と感ぜますが、実は資源問題という大きな課題を抱えています。従来製品の構成材料は、埋蔵量に限りのある希少金属が多く、中には毒性を含むものもあります。今後さらに必要なものだからこそ、持続可能な作り方でなければなりません。当社では、独自技術で開発された汎用金属による熱電モジュールと、排熱を有効利用しエネルギー効率を高める排熱発電ユニットの実用化を目指しています。

## 環境エネルギー事業

- UPS (無停電電源装置)
- SPD (避雷器)
- その他雷防護製品

### 気候変動への備えに 落雷から事業インフラを守る

創業当時の電話回線用避雷器から、事業所などの電源用避雷器まで落雷被害からお客様の生活環境や事業環境を守ってきました。近年では、気候変動により増加する自然災害、落雷もその例外ではありません。事業や生活を長期にわたって続けていくためには、自然災害への備えが必要不可欠となります。落雷から電気設備やシステムを守る、停電時の電源確保を行う。創業当時から培ってきたノウハウを活かし、お客様への最適な製品・技術提案を実施しています。



## 特機事業

- 加熱圧接機
- レールガス圧接機
- 異種金属接合品

### 独自の金属接合技術で暮らしを支える

日本の至る所に張り巡らされた電線や鉄道のレールを、当社独自の接合技術が支えています。「加熱圧接機」は、長尺の電線 (銅線) や鋼線を作る過程における線材同士の接合に必要不可欠であり、各電線・鋼線メーカーで使用されています。線材同士を突き合わせ加熱及び独自の加圧制御にて、不純物の少ない高品質な接合を実現します。また鉄道レールを溶接する「レールガス圧接機」は、各鉄道会社で使用されています。ニッチな分野ですが、当社の技術はいつも人々の身近にあり、国内外を問わず多くの人の暮らしを支えています。

